

# GREEN ニュース

行動する  
環境アドバイザーの会報

## 第62号

環境アドバイザー連絡協議会  
代表 須永 徹  
平成27年3月発行  
第9期総括特集号

高崎青年会議所が主体となって実施している「烏川でのサケの稚魚放流事業」今年で28回目となるそうです。今年は環境アドバイザー高崎地区会が環境教育の側面から協力しました。「地球温暖化問題」「川の水質問題を考える」の2テーマでのパネル説明やデモ実験を実施し、また「川辺の植物観察」を行いました。

昨年12月に子供たちに配布したサケ40,000個の受精卵を各家庭で孵化させて育て、稚魚となった物を持参した人たちが約900

名、放流した稚魚の数は約5,000尾とか。実際に烏川支流の碓氷川では遡上した親サケの産卵活動が確認されています。

利根川（烏川は利根川支流）はサケが遡上する南限とも言われています。

記：広報委員会 田中和夫



### 群馬県環境アドバイザーの動き (平成27年3月20日現在)

第9期(登録期間:平成24年4月1日～平成27年3月31日)です。新規登録者を含め平成27年3月20日現在、男210名女82名、計292名です。

自然環境部会 69名 温暖化・エネルギー部会 56名

ごみ部会 43名 広報委員会 23名が登録し活動されています。



サポセンブログを、携帯電話、スマートフォンで見よう。  
左のQRコードを読み込んでね、スマートフォンの設定でグリーンニュースが見られます。

目次(執筆者)

表紙画像 田中 和夫氏

P2 環境政策課

P3 須永代表から

P4 原田、吉澤副代表から

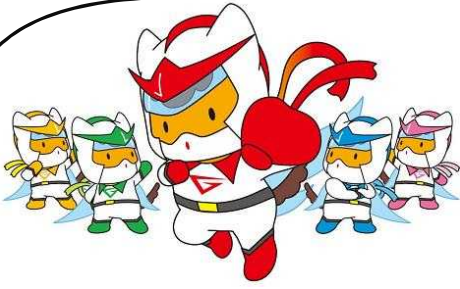
P5 温暖化・エネルギー部会

P6 ごみ部会

P7 広報委員会

P8 第9期アドバイザー登録データ





## 『群馬県環境アドバイザー第10期』が始まります。 (登録更新はお済みですか?)

環境政策課 松村 賢一

平成24年4月から始まった群馬県環境アドバイザー第9期も、平成27年3月までで登録期間が終了します。来たる4月から新たに、第10期をスタートするため、先日、お手元に登録更新用紙をお届けしましたが御覧になりましたでしょうか。

皆さん、登録更新はお済みでしょうか？県では、環境アドバイザーの皆様の活発な活動を期待しております。環境政策課に更新の様式が届き次第、第10期の群馬県環境アドバイザー登録証を発送する予定です。更新していただける方におかれましては、新たな年度、第10期の活動がスムーズに始められるよう早急な登録更新に御協力ください。

なお、今後の予定については、5月中に各地域で制度説明会及び地区部会を行い、その後、第1回の幹事会を経て、6月頃にアドバイザー総会の開催という手順で進めていく予定です。「環境活動について、色々知りたい、やってみたいけれど、参加するきっかけがつかめない。」とか「環境保全に対して同じ考えを持っている仲間を探したい。」という気持ちの方は、これから開催される諸々の行事に是非顔を出してみてください。

また、これからも環境アドバイザー制度をもっと良くして、活性化させていきたい、進めていく上で良いアイデアをお持ちの方は、環境政策課までご意見をお寄せください。環境政策課は、これからも環境アドバイザーの皆さんが「元気に」「やりがいをもって」環境活動に取り組んでいけるようサポートを続けます。

群馬県環境アドバイザー登録などに関する連絡先や情報は…

群馬県 環境政策課 環境活動推進係

〒371-8570 群馬県前橋市大手町1-1-1 16階北フロア

TEL 027-226-2821

FAX 027-243-7702

係共通メールアドレス [ecosusumu@pref.gunma.lg.jp](mailto:ecosusumu@pref.gunma.lg.jp)

群馬県環境アドバイザーホームページ

<http://www.pref.gunma.jp/04/e0110020.html>

## 第9期の終わりにあたって

群馬県環境アドバイザー連絡協議会  
代表 須永 徹

今期も次の総会までの数か月を残すこととなりました。

日頃は群馬県の環境活動に対し、各地域をはじめ各部会やイベント等での活動をありがとうございました。また、今期の活動全体に対し、群馬県環境政策課をはじめとした関係各位には、あらためて御礼申し上げます。

3年間を総括致しますと、代表としての力量不足により皆様のご意見やご要望などの細かな点を掬いきれず、県との調整等も足りずでご迷惑やご不満もあったと存じます。

この3年間は先輩諸氏の実績を踏まえ、その上に立っていかに新体制として活動すべきかを考えながら活動して参りましたが、現在、群馬県環境アドバイザー連絡協議会としては、今後の発展的な継続を行っていくにあたり大きな岐路に差し掛かっているものと思います。この協議会が誕生して10数年が経過しましたが、発足当時のメンバーもそれとともに歳を重ねて参りました。幹事会などで若いメンバー確保のお願いもして参りましたが、部会なども平日での活動が中心ということになると参画できる方も限られてしまい、このままでは協議会として尻つぼみの形となることも懸念されます。

我々の協議会は、環境に関心のある県民であれば誰でも登録できる群馬県環境アドバイザー同士の情報交換や協働で活動するための会であります。従って、まずは関心のある部会登録をされたのであれば、その活動へは積極的な参加をお願いしたいところではあります。こういった活動への参画を通してこそ情報の共有化や会員同士のコミュニケーションが出来、具体的な活動目標が明確になってくるものと思います。

会員の皆さんは、地域においては個人または会員以外の地域の方々との活動をされているとは思いますが、是非アドバイザーとして県から期待されている地域の環境リーダーとしての役割を再度御認識の上、来期に向けて群馬県環境アドバイザー全体の活動が、より活性化できるようお力添えを願えればと思います。



「みんなのごみ減量フォーラムの参加者の皆さん」

## 環境アドバイザーに登録してから——今日まで。

私は上毛新聞に載った、県の環境アドバイザーの募集の記事を見て申し込みました。

しかし私が想像したのは研修等により、環境に対して一般の方々へアドバイス出来る専門家になれるのかと思っていた。

だがそのようなことはなく、各地区でそれなりに環境に取り組み県は情報提供や年に何回かの講演会案内等であり、その他特別なことはなかった。

平成12年4月25日に設立した「環境アドバイザー・高崎地区会」を知り、入会しました。活動は主に井野川の清掃と植栽、井野川の水棲生物調査、環境関連団体との連携、そして一番良かったのは仲間との親睦と交流でした。

15年はあっという間に過ぎ、川も山も空も変化してゆき、多種多様な地球の変化が起こってきた。我らの小さな活動ではその進行は止められず、地球規模で環境が破壊され、地球の温暖化で、植物、生物の生活領域の変化、地球規模の気候の変化が現れている。

しかし我らの小さな活動が、子ども達に伝わり、地域の人々に支えられ改善されてゆくことを願いながら、地道な活動をしています。

4年前から、地区会の会長を仰せつかり、高崎市、県庁、地区のボランティア協議会、NPO連絡会等とも手を取合い、新年度に向かって新しい企画も含めて、一步を踏み出します。

新しく環境アドバイザーになった方々も地道に地区の小さな環境を守る心構えで前を見つめて進んで頂きたい。色々なことで壁に突き当たった時はこの連絡協議会を活用してください。微力ですがサポートします。

(環境アドバイザー連絡協議会副代表 原田邦昭)

## 「アドバイザー活動に拡がり。地球環境問題を再認識して更なる活動を」

平成24年から3年間、アドバイザー協議会副代表として協議会全体の運営、専門部会は主にごみ部会の企画・運営に携わってきました。どうしたら、アドバイザーの皆さんの力を結集できるか、県と連携した取り組みができるか、また、環境問題を広く周りの方に伝え行動に結びつけることができるかを意識して取り組んできましたが、皆さまのお役に立てなかったことをこの場を借りてお詫びします。

地域でアドバイザーが集まりを持って活動する（地域の会合の開催、イベントへの参加、市町村との会話・連携、県イベントへの参加など）ところが増えています。これは先輩アドバイザーの方々の地道な取り組みの成果だと思えます。専門部会の活動も着実に拡がっています。ごみ部会では、7年前に始めた「ごみ削減事例発表会」が6年目の昨年から、県主催の「ぐんま循環型社会づくりフォーラム」とジョイントし、県との共催による「みんなのごみ減量フォーラム」として開催するようになったことは、特筆できると思えます。

世界気象機関(WMO)は今年の2月、2014年の世界の平均気温が観測史上最も高かったと発表しました。地球温暖化の原因とされる二酸化炭素の排出量も増え続けています。日本の家庭部門の二酸化炭素の排出量は1990年から2012年までに約60%増加。群馬県の2012年度の二酸化炭素の排出量は3年連続増加。また、2013年度の群馬県の一人一日当りのごみの排出量は全国ワースト4位という状況です。

平成27年度は環境アドバイザーの登録更新の年です。更新にあたって3年間の活動を振り返ると共に、現状の地球環境問題を再認識し、低炭素社会実現に向けてこころ新たに活動しましょう。

(環境アドバイザー連絡協議会副代表 吉澤 敏則)

## 温暖化エネルギー部会

実は私は・・・環境アドバイザーとしてのキャリアはとても短く、まだ1期半くらいしかお役に立てていないと思います。それでも部会を代表するものとしてなんとかやってこられたのは、多くの先輩方のご指導と、部会のメンバーの支えがあつての事と感謝しております。

今期を振り返つての文章を、ということですので思い起こしてみます。

今期の部会の最初の頃は、とにかくまずは会合を重ねてメンバー同士の環境に関する考え方や得意分野などを知ることから始まったように思います。

メンバーに共通していたのは、刻一刻と変化していく「気候変動」の状況とそれに対する対応策や条約などの約束事、さらには日進月歩の技術革新などをもっと知りたい！という事でした。従つて初期には「勉強会」を中心に部会を重ねていきました。

何しろテーマが大きい部会なので行動として簡単に着手できることはなかなか見つかりませんが、部会として環境関係のフェスティバルに参加したり、各地の「協議会」などにも顔を出させていただきました。

そんな中で昨年12月、「環境学習」として子供たちと「身近で作るエネルギー」実験ができたことは部会メンバー一同、喜ばしい一時でした。

これを通じて改めて考えたことは「まずは、できることから一つずつ。」環境問題、とりわけ温暖化対策とエネルギー問題に取り組んでいければと感じました。



最後に、何よりうれしかったことがあります。

それは部会の仲間が口コミで一人、二人と増えていったことです。仲間が新たに仲間を連れてくるのです。おそらく、理由があるとすれば、それは「楽しそうだから。」だと思います。やはり、まず自分たちが楽しくなければ何事も前向きには取り組めないですね。

来季も楽しい部会でありたいと願います。

(温暖化・エネルギー部会長 田口 勇夫)

### 3年を振り返る

はからずもごみ部会長を託されて、はや3年が経とうとしています。私にとっては長くも短くもあった3年で、感慨もひとしおです。振り返ると、反省させられることばかりです。いろいろなことがあり、周りから助けられながら何とかやってこられたと思っています。その意味では、様々な経験と勉強をさせていただいた3年でした。

ところで、ごみ部会と言うのは、群馬のごみ問題を行動しながら学び考える場と捉えています。身近なところでは、日常の生活でごみを出さない工夫、出たごみの適正な処理などです。地味で個人的、地域的、一市民としての些細な行動が、大変に大切と思います。しかし群馬県環境アドバイザーとしては、それだけでは足りないような気がしています。レジ袋減量のための活動、ごみの不法投棄防止の活動、ごみの減量と3Rを推進する全県的な運動に関わることも必要ではないでしょうか。

ごみ部会では、ごみの減量を目指し例年、ごみ削減事例発表会を主催してきました。平成24年度には、群馬県環境アドバイザー連絡協議会主催、群馬県後援として廃食用油をテーマとして開催しました。平成25年度は、県廃棄物リサイクル課の3R講演会と共催で「みんなのごみ減量フォーラム」を開催しました。そして今年の1月20日には、群馬県環境アドバイザー連絡協議会と群馬県との共催で2回目の「みんなのごみ減量フォーラム」を開催することができました。この「みんなのごみ減量フォーラム」については、次年度も継続開催を目指しています。ごみ部会の主催ではなくなりましたが、新たに環境アドバイザーと群馬県の協働の場が生まれました。ごみ部会としても引き続き関わってゆくことに変わりありません。

ごみ部会について言えば、より多くの環境アドバイザーが参加できる場にすることが、部会としての課題です。簡単なようで、なかなか難しいことなので、部会の中で話し合っただけだと思っています。



(ごみ部会 山田一朗)

リサイクルプラザ玄関にて



ぐんま環境フェスティバルにて



みんなのフォーラム会場 GTV のカメラマン

## 広報委員会、この3年を振り返って

平成24年4月から27年3月までの環境アドバイザー第9期において、機関紙「グリーンニュース」を50号～62号の13回発行する事ができました。年4回のペースです。投稿者の皆様には色々ご協力頂きありがとうございました。これらを簡単に振り返ってみます。なお期中で広報部会から広報委員会に変わり代表直轄となりました。

51号 (24/7) 表紙・ギンリョウソウ トピックス：オオブタクサについて

52号 (24/10) 大田市のメガソーラー

53号 (24/12) 榛名湖のイルミネーション 前橋地区会誕生

54号 (25/3) 花の丘菜の花祭り インタビュー記事掲載 (花の丘)

55号 (25/6) 花咲湿原のコバイケイソウ 富岡・前橋・沼田 地区会たより

56号 (25/9) わらぼっち 前橋工科大院生の記事を掲載 (水処理技術)

57号 (25/12) 水上の氷筈

58号 (26/4) ザゼンソウの花 インタビュー記事掲載 (太陽光発電所)

59号 (26/6) 矮小化したミズバショウ 県地球温暖化防止活動推進センター

片亀氏の節電・省エネの解説記事と同テーマの一般投稿記事掲載

60号 (26/10) 猛禽類チョウゲンボウ ごみ排出量問題特集記事掲載

61号 (26/12) 昨年2月の豪雪 温暖化エネルギー部会特集記事掲載

62号 (27/3 予定) アユの稚魚放流 3年間のまとめ記事



環境アドバイザー協議会機関紙、という性格上定型的な記事が多くなり無味乾燥となるのを避ける工夫として各部会報告でも特集記事を入れたり、第三者の方へのインタビューなども試みましたが、まだ不十分でした。

一般の方への投稿もお願いしましたが数が少なかったのは残念です。

グリーンニュースの発行以外の広報活動としてインターネットの活用なども検討しましたが、予算不足 (というより予算なし) や私たちの力不足で実現できなかった事をお詫びします。2期6年間お世話になりました。

☆写真や投稿記事 (短くてもかまいません) を随時募集しています。

メール：[tosaka-hitoshi@pref.gunma.lg.jp](mailto:tosaka-hitoshi@pref.gunma.lg.jp)

〒371-8570 前橋市大手町 1-1-1 (環境森林部環境政策課 サポートセンター)

(広報委員会 委員長 田中 和夫)

第9期 26年度末 環境アドバイザーデータ

| 市町村名 | (人) | 割合    |
|------|-----|-------|
| 高崎市  | 60  | 20.5% |
| 前橋市  | 60  | 20.5% |
| 太田市  | 24  | 8.2%  |
| 伊勢崎市 | 26  | 8.9%  |
| 安中市  | 22  | 7.5%  |
| 桐生市  | 13  | 4.5%  |
| 渋川市  | 12  | 4.1%  |
| 沼田市  | 5   | 1.7%  |
| 富岡市  | 10  | 3.4%  |
| 藤岡市  | 7   | 2.4%  |
| 館林市  | 8   | 2.7%  |
| みどり市 | 14  | 4.8%  |
| 中之条町 | 5   | 1.7%  |
| 邑楽町  | 5   | 1.7%  |
| 大泉町  | 5   | 1.7%  |
| 榛東村  | 1   | 0.3%  |
| 長野原町 | 1   | 0.3%  |
| 昭和村  | 2   | 0.7%  |
| 東吾妻町 | 2   | 0.7%  |
| 千代田町 | 1   | 0.3%  |
| 甘楽町  | 2   | 0.7%  |
| 草津町  | 1   | 0.3%  |
| 下仁田町 | 0   | 0.0%  |
| 高山村  | 0   | 0.0%  |
| 嬭恋村  | 1   | 0.3%  |
| 明和町  | 1   | 0.3%  |
| 玉村町  | 1   | 0.3%  |
| 吉岡町  | 3   | 1.0%  |
| 計    | 292 |       |

| 年代別  | (人) | 割合    |
|------|-----|-------|
| 20才代 | 2   | 0.7%  |
| 30才代 | 13  | 4.5%  |
| 40才代 | 30  | 10.3% |
| 50才代 | 59  | 20.2% |
| 60才代 | 91  | 31.2% |
| 70才代 | 82  | 28.1% |
| 80才代 | 14  | 4.8%  |
| 無記名  | 1   | 0.3%  |
| 計    | 292 |       |

|      |      |
|------|------|
| 平均年齢 | 62.5 |
|------|------|

|       |     |       |
|-------|-----|-------|
| 男     | 210 | 71.9% |
| 女     | 82  | 28.1% |
| 計     | 292 |       |
| 死去、脱会 | 18  | 6.2%  |

|       |     |       |
|-------|-----|-------|
| 更新者数  | 196 | 67.1% |
| 新規登録者 | 96  | 32.9% |

| 幹事会(50名)    | 参加者数 |       |
|-------------|------|-------|
| 第1回 24/6.4  | 33   | 66.0% |
| 第2回 24/10.3 | 25   | 50.0% |
| 第3回 25/3.22 | 22   | 44.0% |
| 第4回 25/5.22 | 25   | 50.0% |
| 第5回 25/9.21 | 21   | 42.0% |
| 第6回 26/3.12 | 21   | 42.0% |
| 第7回 26/7.29 | 20   | 40.0% |
| 第8回 27/3.12 | 23   | 46.0% |

部会、委員会登録者

|        |    |       |
|--------|----|-------|
| 広報委員会  | 23 | 7.9%  |
| ごみ部会   | 43 | 14.7% |
| 自然環境部会 | 69 | 23.6% |
| 温・エネ部  | 56 | 19.2% |

